

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



森林を守ることは、私たちの命を守ること

人間が豊かで便利に暮らすことを優先した結果、地球の自然環境はさまざまな形で壊れ始めています。地球温暖化や海洋汚染、大気汚染、そして“森林破壊”もそのひとつです。

世界の森林面積はおよそ40億ヘクタール。地球の陸地面積の約3割を占めており(※)、そこには陸地に棲む動植物の3分の2以上が生息しているといわれています。

ところが、1990年から2020年の30年間に世界の森林は年平均約600万ヘクタール減少しています。特に生物多様性の宝庫であるアフリカや南アメリカなどの熱帯林では、森林の減少と劣化が進み、毎日約100種の動植物が消失しているとされています。森林減少の原因はさまざま、人々が生活していくために森林を農地や牧場に転用したり、森林の回復を上回るスピードで過剰な伐採を繰り返したり。また干ばつや乾燥などによる森林火災もその一因です。

もし、地球から森林がなくなれば、人間を含むすべての生物は生きていくことができません。森林にはどんな働きがあり、どのように私たちの暮らしに関わっているのか、また日本の森林はどんな課題を抱えているのか。まずは知ることから始めましょう。

森林のはたらき

森林には私たちの生活環境を守るための、さまざまな働きがあります。

大気を浄化し、地球温暖化を抑える

地球温暖化の防止には、その原因とされる二酸化炭素の大気中の濃度を抑えることが重要です。樹木は光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収するとともに、酸素を排出しながら炭素を蓄え、成長します。さらに森林では落ち葉などにより、土中にも大量の炭素を貯えることができ、その吸収源として大きな役割を果たしています。

土壌を保全、土砂災害を防ぐ

森林では地中に張り巡らされた樹木の根が土壌を斜面につなぎとめています。さらに土壌の表面をおおう落葉や落枝、かん木、下草等におおわれた地表は、降雨などによる土壌の流出を抑え、土砂災害を防いでくれます。

木材やキノコを生産する

森林は紙の原料にもなる木材やキノコ、山菜などの恵みを与えてくれます。これらは森林が適切に管理されることによって、繰り返し生産される“循環型資源”として私たちの生活を支えています。

生物多様性を守る

森林には多くの植物が生育し、その植物をエサや住みかとする動物がたくさん生息しています。これらの生物は森林の中で密接かつ複雑な関係を築いています。

水を貯え、浄化する

森林の土壌は落ち葉などの有機物やそこに棲む生物の働きにより、スポンジのような構造になっています。そのため雨水を地中に蓄えゆっくりと河川に流すことで洪水や渇水を緩和し、その過程で水質を浄化しています。

教育や心身のやすらぎの場となる

自然に触れる体験は道徳観や正義感の形成につながり、子どもたちの教育の場として重要な役割を果たしています。また森林浴やハイキングなどのレクリエーションなどを通じ、私たちの心身のやすらぎの場となっています。



日本の森林は大丈夫？

日本は世界でも有数の森林大国と言われ、国土の約3分の2を森林が占めています。日本の森でも森林破壊は起きているのでしょうか。じつは日本の森林面積は昔も今もほとんど変わっていません。しかし林業の後継者不足や、戦後から木材の多くを安価な輸入木材に頼ってきた結果、日本の森林には手入れされないまま成長した木がたくさん放置されています。日本の森林の6割は天然林、残りの4割は人の手で苗木を植えて育ててきた人工林です。人工林は苗木を植えた後も下草を刈り、間伐をし、人が手をかけて育てなくてはなりません。しかし手入れされずに放置された森林は森全体に光が入らず、植物が育たなくなり、土壌が痩せ、大雨が降ると土が流され山崩れを起こしやすくなります。また若い木に比べて二酸化炭素の吸収量が減り、温暖化防止機能を低下させてしまうのです。

森林保全のために私たちができることは限られていますが、まずは森林について知ることが大切です。皆さんの身近な場所に森林はありますか？そこにはどんな種類の木が育ち、どんな動物や植物がいるか知っていますか？家族や友人と散策したり、ワークショップなどに参加し、日本の森林について学んでみませんか。

森林保全につながる消費行動をしよう！

森林を守るために、私たちが消費者としてできることは、違法伐採された木材や木材・紙製品を買わないこと。持続可能な森林経営に関わる企業を選ぶことです。その目印となるのがこれらのマーク。お買い物の際にぜひチェックしてみてください。

間伐材マーク

森を育てるために狩りだされた間伐材を利用した製品に表示されるマーク。木材製品や紙製品に使用されています。



PEFCマーク

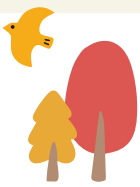
持続可能な森林管理を促進することを目的とする世界的な森林認証組織「PEFC」に認証された森林から産出された木材・チップから作られた用紙であることを示すマーク。



FSCマーク

森林の生物多様性や、そこに暮らす人・働く人の権利を守り、経済的に持続可能な森林管理を世界に広めるための国際的な非政府組織 (FSC) の認証林、再生資源、その他の管理された供給源からの原材料で作られている製品に付けられるマーク。





「親子自然観察会」を実施しました!



さわやかな秋晴れの日が続く10月8日(土)、『親子自然観察会』を実施しました。

場所は福岡市中央区にある南公園。「身近な自然に親しみながら、植物や生き物の特徴、つながりを観察し、クラフトを通して森の恵みを体感する」をテーマとしたこのイベントに、3組9名のご家族が参加されました。

講師はNPO法人グリーンシティ福岡さん。「志賀島森林保全ボランティア」などの環境保全活動や、伐採した樹木を使って工作を行う「森のめぐみワークショップ」など、人と自然をつなぐ“対話”と“体験”の環境作りを行っています。

スズメバチに遭遇した時の対処法など、散策中の注意事項を確認して、いよいよ観察スタート。公園内を歩きながら木々を見上げたり、立ち止まって静かに目を閉じて、鳥のさえずりや森の音に耳を傾けてみたり、さまざまな視点から自然を体感。子どもたちも初めて見る草木や生き物に興味津々な様子で、草花や枯れ葉の匂いをかいだり、大きく根を張った木を見つけて木登りに挑戦したり、目の前に広がる自然とのふれあいを思いきり楽しんでいました。

散策の後は公園内に生育しているアラカシの枝を使ったオリジナルスプーン作りにチャレンジ。柄の部分となるアラカシの枝の表面を、子どもたちがなめらかなるまで紙やすりで磨きます。途中「疲れた〜!」という声を上げながらも一生懸命に磨きあげてヘッドを付け、世界で一つだけのスプーンが完成しました。

街中でも一歩足を踏み入れるだけで、これまで気づかなかった身近な自然を満喫することができ、とても有意義な観察会になりました。



紙ごみをリサイクルして、世界の森林を守ろう!



ペーパーレスが進んだ現代においても、紙は私たちの暮らしに欠かせないもの。近年はプラスチックの代替品としても注目されています。紙の原料は木の繊維ですが、この製紙原料の生産が森林破壊の大きな要因となっている国も少なくありません。日本でも国内生産される紙製品の原料となる木材チップの7割以上を、ベトナムやオーストラリア、南米など海外の森林資源に頼っており、また紙製品として輸入されているものも数多くあります。

そんな世界の森林を守るための行動のひとつが**古紙のリサイクル**。古紙1トンのリサイクルすることで、紙を作るために使う20本の木を切らずに済むといわれています。

福岡市の燃えるごみの袋に捨てられている紙ごみの約半分はリサイクル可能な紙で、その量は約3万トン/年。その内、約9割が雑がみです。紙ごみをリサイクルすることで燃えるごみの量も減らすことができます。ちなみに令和3年度、福岡市では地域集団回収や区役所等での回収により、新聞、段ボール、雑がみ(※)など約2万5千トンの古紙が回収されました。この量は紙を作るために必要とされる木、約50万本分に相当します。

西部3Rステーションでも新聞紙、段ボール、雑がみの回収を行っています。古紙リサイクルは誰でも手軽にできる森林保全。ぜひご利用ください。

※パンフレット、お菓子やティッシュの箱、封筒、はがき、トイレトーパー等の芯、紙袋など。

詳細は [福岡市 雑がみ](#)

[検索](#)





ご来館の皆さまへお願い

入館されるすべての方へ

- ・ご利用はできるだけ少人数でお願いします。
- ・発熱、咳等の症状がある場合は来館をご遠慮ください。
- ・館内は**マスク着用**でお願いします。
- ・入口に消毒液を設置していますので、**手指の消毒**をお願いします。
- ・人との距離(2m程度)を保つようお願いします。

講座を受講される方へ

- ・受講前に、体調確認と**体温測定**にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、状況により今後開催予定の3R実践講座、体験講座、生ごみ堆肥相談会の実施を見合わせる場合がございます。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

「フードドライブ」実施中!!

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは「フードドライブ」を実施中です。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で
余っている食品を
ご提供ください!



日時 毎日10:00~16:00※休館日を除く **場所** 西部3Rステーション2階受付
対象食品 未使用・未開封のもの※賞味期限まで1か月以上ある、常温保存可能なものに限りです。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行なっています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

体験講座

すべて無料!

内容は変更する場合があります

牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30~15:30
所要時間30分程度
申込 随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30~15:30
所要時間30分程度
申込 随時



ロール芯でペン立て

毎日 10:30~15:30
所要時間30分程度
申込 随時



食品トレイでマグネットインテリア

毎日 10:30~15:30
所要時間30分程度
申込 随時



ハーブ入りリサイクルせっけん作り

水曜日 10:30~11:30
定員 5名/日(先着順)
申込 希望日の3日前まで



体験講座の申込方法

電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①**体験内容**②**住所**③**氏名**④**年齢**⑤**電話番号**を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は
何でも相談ください。

■**ふくおか環境倶楽部主催**
日時 / 毎月第2・第4土曜日
13:00~16:00

場所 / 2F啓発コーナー
参加費 / 無料 **事前申込** / 不要
※**基材・テキスト購入可**



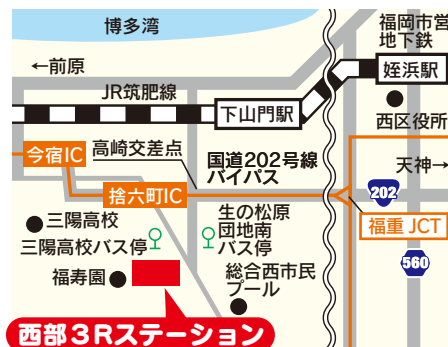
福岡市西部3Rステーション

開館時間 10:00-17:00
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL 092-882-3190 **FAX** 092-882-4580
〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

**おバスで
お越しの方**
姪浜・天神・博多方面より
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分
[西鉄バス情報] <http://www.nishitetsu.jp/bus/>



<http://www.fukuoka-seibuplaza.com>

福岡市西部3Rステーション 検索



ツイッターは
こちらから

西部3Rステーション季刊情報誌 / 2022年7月1日発行
編集・発行 / 公益財団法人 福岡環境財団



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用し、
植物油インキで印刷しています。